

天城山

ハイキングマップ

① 天城縦走路コース

② 八丁池コース

③ シャクナゲコース

④ 皮子平コース



皮子平

皮子平火山の火口跡、噴火した大量の溶岩、また、その上にはブナなどの巨木、数千本のヒメシャラの若木、マメザクラ、シダなどが茂る天城の秘境とも言える所です。

④ 皮子平コース

天城の秘境とも言えるところ。アプローチには3ルートがあり、天城縦走路の八丁池側からと天城高原ゴルフ場側、そして、中伊豆の筏場新田側から入るルートです。お薦めの2ルートを紹介。*

【八丁池から西皮子平までのコース】

(10.6km / 約3時間45分 [八丁池までの距離・時間は含まず])

*八丁池までの往復は「八丁池ルート・上り御幸歩道・下り御幸歩道・水生地歩道」等を利用。

八丁池 2.6km 50分 白田峠 1.4km 30分 戸塚峠 0.5km 10分 東皮子平 0.8km 20分 西皮子平 0.8km 20分 東皮子平 0.5km 15分 戸塚峠 1.4km 30分 白田峠 2.6km 50分 八丁池

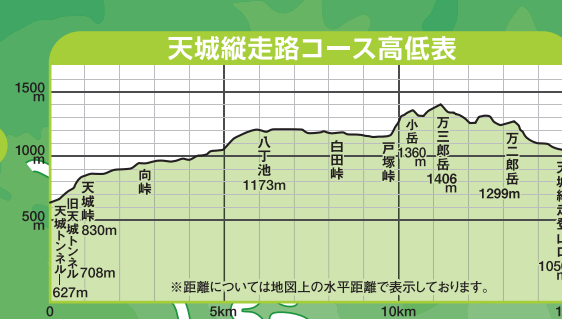
【筏場新田からのルート】(21.3km / 約7時間15分)

筏場新田 8.0km 170分 戸塚歩道入口 1.5km 30分 上井屋歩道入口 1.0km 30分 西皮子平 0.8km 20分 東皮子平 2.0km 40分 戸塚歩道経由 戸塚歩道入口 1.45分 筏場新田

① 天城縦走路コース (17.5km / 約7時間40分)

天城峠から八丁池を経て、ブナ・ヒメシャラ・カエデなどの原生的な森に覆われた天城の尾根を踏破するコースです。

天城峠バス停 0.3km 15分 旧天城トンネル 0.5km 20分 天城峠 6.1km 140分 八丁池 2.6km 50分 白田峠 1.4km 30分 戸塚峠 0.5km 10分 小岳 0.8km 20分 万三郎岳下分岐 0.2km 5分 万三郎岳 2.1km 75分 万二郎岳 1.6km 50分 四辻 0.7km 20分 天城縦走路登山口



天城の植物

天城山を中心に広がる広大な森には、ブナをはじめ、ヒメシャラ、カエデ、アマギシャクナゲ、アマギツツジ、トウゴクミツバツツジ、アセビ、マメザクラなどが混生しています。稜線部にはブナの巨木や美しいブナ林が見られます。5月中旬～下旬にはアマギシャクナゲ、また、6月下旬～7月上旬には天城固有種のアマギツツジが咲き、多くのハイカーで賑わいます。



シャクナゲコース拡大図

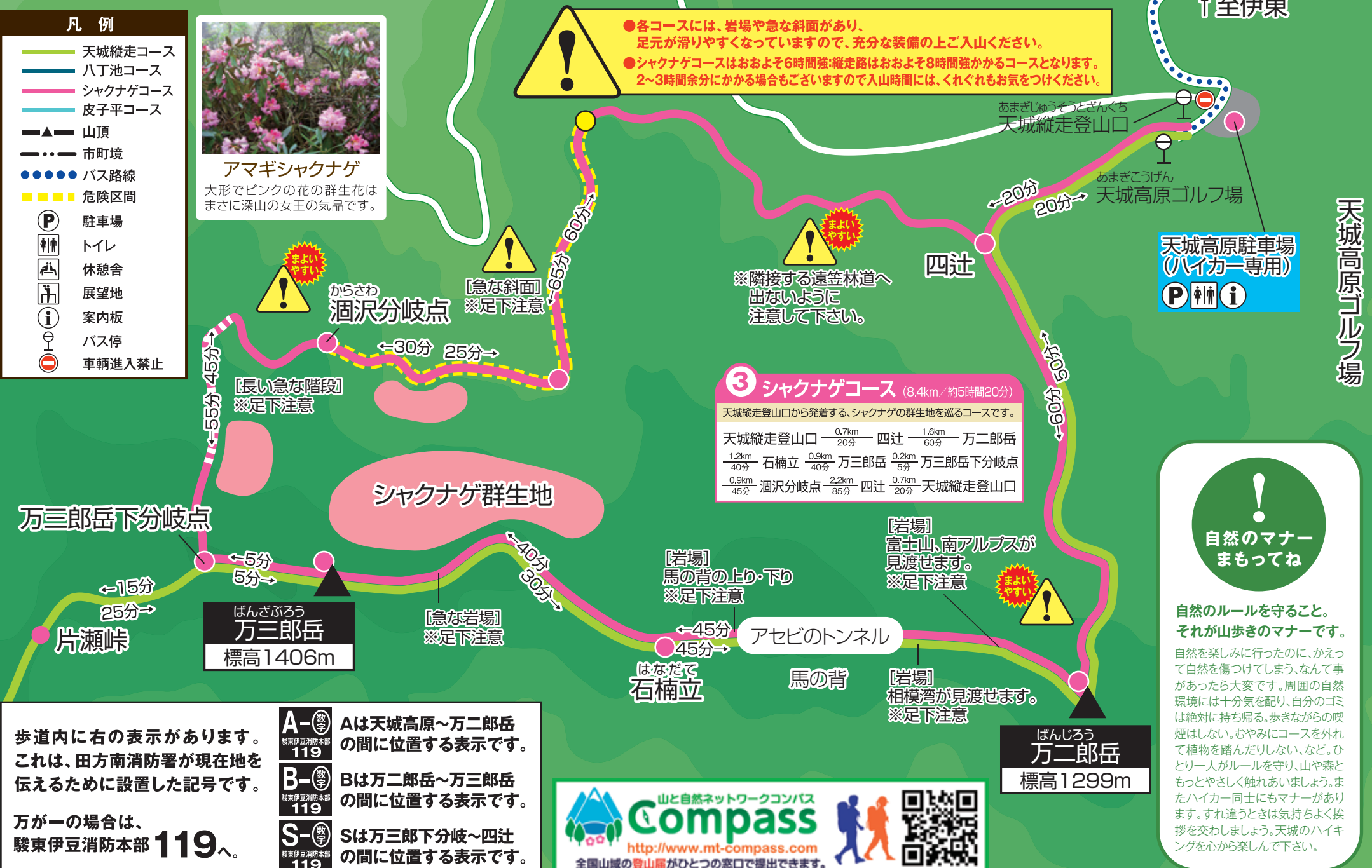
- #### 凡例
- 天城縦走路コース
 - 八丁池コース
 - シャクナゲコース
 - 皮子平コース
 - 山頂
 - 市町境
 - バス路線
 - 危険区間
 - 駐車場
 - トイレ
 - 休憩舎
 - 展望地
 - 案内板
 - バス停
 - 車輦進入禁止



アマギシャクナゲ

大形でピンクの花の群生花はまさに深山の女王の気品です。

●各コースには、岩場や急な斜面があり、足元が滑りやすくなっていますので、充分な装備の上ご入山ください。
●シャクナゲコースはおおよそ6時間強・縦走路はおおよそ8時間強かかるコースとなります。2～3時間余分にかかる場合もございますので入山時間には、くれぐれもお気をつけください。



自然のマナー

まもってね

自然のルールを守ること。それが山歩きのマナーです。
自然を楽しみに行ったのに、かえって自然を傷つけてしまう、なんて事があつたら大変です。周囲の自然環境には十分気を配り、自分のゴミは絶対に持ち帰る。歩きながらの喫煙はしない。むやみにコースを外れて植物を踏んだりしない、など。ひとり一人がルールを守り、山や森とまともやさしく触れあひましょう。またハイカー同士にもマナーがあります。すれ違うときは気持ちよく挨拶を交わしましょう。天城のハイキングを心から楽しんで下さい。

歩道内に右の表示があります。これは、田方南消防署が現在地を伝えるために設置した記号です。
万が一の場合は、駿東伊豆消防本部 119へ。

- A** (数字) 駿東伊豆消防本部 119
Aは天城高原～万二郎岳の間に位置する表示です。
- B** (数字) 駿東伊豆消防本部 119
Bは万二郎岳～万三郎岳の間に位置する表示です。
- S** (数字) 駿東伊豆消防本部 119
Sは万三郎下分岐～四辻の間に位置する表示です。

山と自然ネットワークコンパス
Compass
http://www.mt-compass.com
全国山域の登山届がひとつの窓口で提出できます。

ばんじろう
万二郎岳
標高1299m

●天城山の各コースには、岩場や急な斜面があり、足元が滑りやすくなっていますので、充分な装備の上ご入山ください。
●縦走路はおおよそ7時間強のコースになります。約9時間強かかる場合もございますので入山時には、くれぐれもお気をつけください。

① 天城縦走路コース

② 八丁池コース

② 八丁池コース

昭和天皇が歩かれた御幸歩道と、野鳥の森から八丁池へ至る2つのコースが楽しめます。

【天城八丁池(上り御幸歩道 下り御幸歩道)】

(11.6km/約4時間30分)

天城峠バス停 0.3km 15分 旧天城トンネル 0.5km 20分 天城峠 1.3km 30分 向峠 2.7km 65分 大見分岐点 2.1km 35分 八丁池 2.0km 35分 下り八丁池歩道分岐点 1.6km 40分 本谷林道 1.1km 30分 水生地

【下り八丁池歩道】(3.1km/約55分)

八丁池分岐 1.6km 35分 岩尾林道 1.1km 30分 下り八丁池歩道分岐点

【天城八丁池(野鳥の森)】(5.8km/約2時間10分)

八丁池口 1.1km 20分 コルリ歩道 0.2km 7分 オオルリ歩道 0.5km 18分 青スズ台 1km 20分 八丁池 1.6km 30分 コマドリ歩道分岐点 0.8km 20分 ウグイス歩道 0.6km 15分 八丁池口

① 天城縦走路コース (17.5km/約7時間40分)

天城峠から八丁池を経て、ブナ・ヒメシャラ・カエデなどの原生的な森に覆われた天城の尾根を踏破するコースです。

天城峠バス停 0.3km 15分 旧天城トンネル 0.5km 20分 天城峠 6.1km 140分 八丁池 2.6km 50分 白田峠 1.4km 30分 戸塚峠 1.2km 35分 小岳 0.8km 35分 万三郎岳下分岐 0.2km 5分 万三郎岳 2.1km 75分 万二郎岳 1.6km 50分 四辻 0.7km 20分 天城縦走路登山口

昭和の森 川端康成文学碑 水生地 氷室 なまこ岩 水生地下 P i 旧天城トンネル 北口園地 旧天城トンネル 標高708m 天城峠 向峠 新天城トンネル 標高627m 二階滝 二階滝駐車場 P i

② 八丁池コース

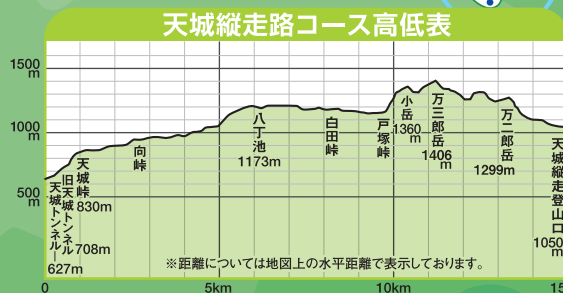
① 天城縦走路コース

天城の動物

温暖な気候と豊かな自然をもつ天城には数多くの動物が棲んでいます。中でも八丁池周辺には野鳥が多く、コルリ、オオルリ、ウグイス、アカゲラ、アオゲラ、ヤマガラ、シジュウカラ、コマドリ、エナガ、ホトギスなど年間を通じて64種もの野鳥が確認されています。また、八丁池やシラヌタの池にはモリアオガエルが産卵にやってきました。モリアオガエルをはじめとする、「シラヌタの池とその周辺の生物相」は、静岡県指定天然記念物として保護されています。



モリアオガエル



八丁池口行専用バス
「修善寺駅(一部昭和の森会館)~八丁池口」間を運行します。バスは季節運行のため、運行日・運行時間はこちらのサイトから検索、または下記までお問い合わせください。

株式会社東海バス
TEL.0558-72-1841

- 凡例**
- 天城縦走路コース
 - 八丁池コース
 - 山頂
 - 歩道
 - 市町境
 - 国道
 - バス路線
 - 駐車場
 - トイレ
 - 休憩舎
 - 展望地
 - 案内板
 - バス停
 - 車輛進入禁止

- お問い合わせ**
- 昭和の森会館 TEL.0558-85-1110
 - 伊豆市役所(代表) TEL.0558-72-1111
 - 伊豆市観光協会天城支部 TEL.0558-85-1056
 - 河津町産業振興課 TEL.0558-34-1946
 - 河津町観光協会 TEL.0558-32-0290
 - 東伊豆町観光産業課 TEL.0557-95-6301
 - 東伊豆町観光協会 TEL.0557-95-0700
 - 伊豆森林管理署 TEL.050-3160-6020
 - 東海バス 修善寺営業所 TEL.0558-72-1841 (エリア/伊豆市・沼津市・伊豆の国市)
 - 東海バス 下田営業所 TEL.0558-22-2514 (エリア/東伊豆町・河津町・下田市・南伊豆町)
 - 東海バス 伊東営業所 TEL.0557-37-5121 (エリア/伊東市)

昭和の森・天城山自然休養林
管理運営協議会

天城ハイキングの魅力

1 自然の魅力を知る
自然のままの美しさが残る天城連山は、ハイキング愛好家たちの別天地です。新緑が芽吹く春。深い森に清流が輝く夏。そして紅と黄色のグラデーションで山装う秋と、大自然がくれる四季の魅力を思う存分体感できます。散歩感覚から、エキスパートコースまで、歩いた人だけがその爽快感と満足感を感動できます。



2 天城ならではの味覚を知る
大自然の中を運動して堪能したら、次は旬の味わいを満喫しましょう。深く豊かな山々は清冽な水を育みます。狩野川に踊る香り高い夏の鮎。山からしみ出す清水が磨いた山の宝石・ワサビ。山の懐で育まれたしいたけ、そして冬のシシ鍋。全てが自然産の滋味満点の美味を召し上げられ。



3 天城の温泉のぬくもりを知る (日帰り温泉)
最後の締めはやっぱり温泉。心地いい疲れを天然の温泉で癒してあげましょう。詳しくは下記観光協会等にお問い合わせください。